

条例の一部改正

第三回臨時会

一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正

一般の職員、へき地保育所職員、及び特別職の職員の六月期末・勤勉手当について、人事院勧告に従い〇・二ヶ月分の支給を凍結することとしました。

第二回定例会

標茶町国民健康保険条例の一部を改正

平成二十一年三月三十一日付で地方税法及び同施行令が改正・交付されたことに伴い、関係部分の改正を要することとなりました。

標茶町国民健康保険条例の一部を改正

被保険者代表委員、保険医・薬剤師代表委員及び公益代表委員をそれぞれ一名を減らしました。

出産育児一時金は緊急の子育て支援対策として平成二十一年十月一日から平成二十三年三月三十一日まで四万円引き上げて、三十九万円となりました。

標茶町手数料条例の一部を改正

長期優良住宅の普及の促進に関する法律が交付・施

行されたことに伴い構造及び設備を有する住宅の建築及び維持保全に関する計画の認定制度が設けられ、認定審査事務に要する費用を手数料として徴収することになりました。

標茶町育英資金貸付基金条例の一部を改正

年間の貸付限度額五百万円の上限額を廃止しました。

標茶町議会広報調査特別委員会調査報告書

委員長 深見 迪

平成十九年第二回定例会において「標茶町議会広報調査特別委員会」が設置され、伊藤淳一、林博、深見迪、川村多美男、小林浩各委員が選出された。

広報委員会は、「しべちや議会だより」第六十五号から第七十二号まで、八回の広報を発行した。

広報委員会は、議事公開の原則に基づき、議会がその運営や活動の実態をわかりやすく住民に知らせていくという義務の一端を果たすよう努力した。

編集では、レイアウトや見出し、写真などで工夫し見やすい紙面づくりや、用語の使い方、住民目線での

広報づくりを心がけた。経費節減のため、できるだけ「広報しべちや」と記事が重複しないようにし、ページ数を減らした。

議員提案第二号

議会広報調査特別委員会の設置について

議会運営委員長から広報調査特別委員会設置の提案趣旨並びに内容の説明が行われ、全会一致で採択された。

提案趣旨

議会広報「しべちや議会だより」は、平成四年五月に創刊して以来、発行号数七十二号を数え、議会の情報公開に大きな役割を果たしてきた。

議会が町民に理解され、支持される活動を展開するために議会情報の公開を積極的に進め、共有化を図ることが益々重要となってきたこと、その中心となる議会広報を発行するために、標茶町議会広報調査特別委員会の設置を全議員の総意として提案する。

広報調査特別委員会はこれによって5名の委員を選出し二年間、主に「しべちや議会だより」の発行の仕事をする。

六月三十日・標茶町議会議員 北海道町村議会議員研修会に参加

議会の役割と課題について 研修を深める

・住民の方を向いて・ 毎年札幌で開催される全道の議員研修会に標茶町からも十六人全員が参加し、研修を深めました。

研修は、二人の講演を中心にすすめられました。初めに講演した山梨学院大学教授江藤俊昭氏は、「住民自治時代の議会の役割」と題して、地方議会に対する不満が多い現場を表した住民のアンケートを示しながら、議会の果たすべき役割について話しました。

また、講師は、議会は町長に対する質問だけでなく自ら政策を提案し町政に対する監視をしっかりと行い、住民の声を大事にし、住民参加を積極的に導入した議会活動を行うことが今日的課題であることを強調しました。さらに、住民とともに歩む議会改革を行っていくべきであり、会議出席だけの議員活動ではなく、必要な調査活動、住民の声を聞く活動などの重要性に触れ、議員報酬、議員定数に

せばよいということではなく議員活動に必要な報酬、多様な意見を吸収し十分な議論ができる議員定数についてよく考えることが必要であると話しました。

・ひとり暮らしの高齢者を大切にするのが政治・ 二人目の講師は、テレビ出演等で著名な読売新聞特別編集委員の橋本五郎氏が、「どうなる日本の政治と経済」と題して講演しました。

橋本氏は、今の政局について解説しながら、自らの母親の生き方なども紹介し、「地方の小さな集落を大切に、時代を作ってきた高齢者を大切にすることこそが政治の果たす役割である」と力説し、参加者の共感を呼びました。



平成21年度議員研修会

議会日誌から

- 三月十七日 広報調査特別委員会
- 三月二十七日 釧路広域市町村圏事務組合議会三月定例会
- 三月二十七日 釧路公立大学事務組合議会第一回定例会
- 四月八日 広報調査特別委員会
- 四月九日 広報調査特別委員会
- 四月十六日 広報調査特別委員会
- 四月十七日 議会運営委員会
- 四月二十二日 広報調査特別委員会
- 四月二十七日 議会運営委員会
- 四月二十八日 第二回臨時会
- 五月八日 議会運営委員会
- 五月十一日 広報調査特別委員会
- 五月十三日 本別町議会視察来町
- 五月二十五日 議会運営委員会
- 五月二十六日 第三回臨時会
- 五月二十八日 釧路北部消防事務組合議会第一回臨時会
- 六月十二日 議会運営委員会
- 六月十六日～十七日 第二回定例会

訂正

平成二十一年五月一日発行の議会だより第七十二号の十三頁記事「林博議員の総括質疑に対する答弁で、町立病院における救急外来の数はどの位か。」

答 土日、祝日、夜間の救急外来受診患者数は救急車、自家用車等を含め、平成十六年度から十九年度までの数で約一、二〇〇人となっている。

とあるのは答弁内容に不足があり、正しくは年間平均約一、二〇〇人です。

常任委員会等の構成

平成二十一年第二回臨時会（四月二十八日）が、開催され、各常任委員会委員等が選任され、直ちに正副委員長が互選されました。

◎委員長 ○副委員長

総務委員会

◎田中 敏文 ○深見 迪

田中 進 黒沼 俊幸

伊藤 淳一

厚生文教委員会

◎川村多美男 ○林 博

後藤 勲 末柄 薫

館田 賢治

産業建設委員会

◎菊地 誠道 ○小林 浩

越善 徹 小野寺典男

平川 昌昭

議会運営委員会

◎小野寺典男 ○菊地 誠道

末柄 薫 深見 迪

田中 敏文 川村多美男

平川 昌昭

特別委員会の設置

第二回定例会で選任されました。

広報調査特別委員会

◎末柄 薫 ○田中 敏文

黒沼 俊幸 深見 迪

平川 昌昭

編集後記

六月第二回定例会において、議会広報調査特別委員会の設置と新たに五名の委員が選任されました。

「議会だより」の目的は、議会活動の内容を、広く町民の皆さんにお知らせし考えていただき、透明性のある行政を実現していくことにあります。新委員五名、認識も新たに「議会だより」第七十三号以下の発行につとめてまいりますので、よろしく願います。

六月第二回定例会では、一般質問、総括質疑を合わせて八名十四件、また、条例一部改正、一般会計の補正予算、意見書の採択二件等、活発な質疑があり、その内容についてお伝えいたします。

今後も議会活動の内容はもちろんのこと、議員定数問題をはじめとする議会改革の内容も、引き続きお伝えしてまいりますので、ぜひ町民の皆さんの御意見や御感想をお寄せ下さい。

文責 末柄 薫